



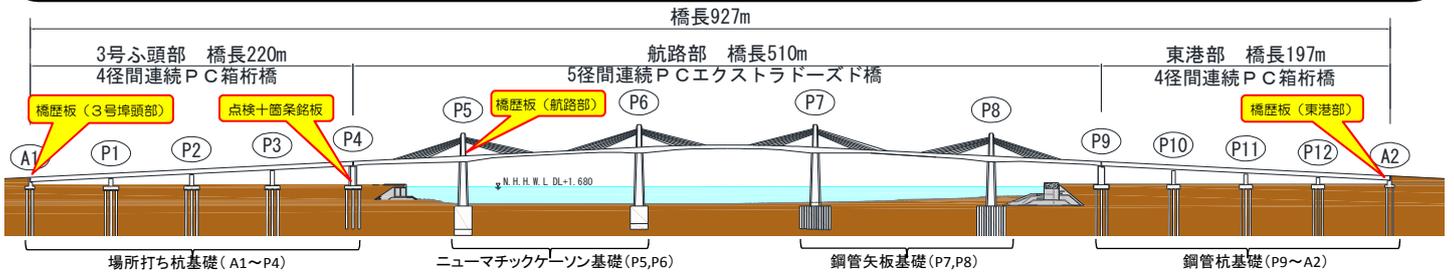
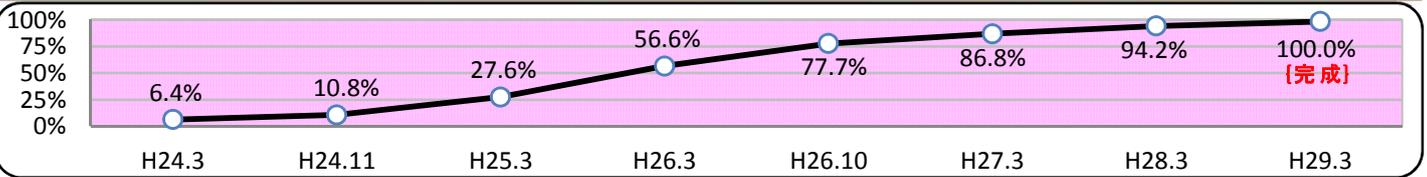
マイブリッジ
Love of onahama Bay Bridge かわら版

KAKERU



小名浜港 国際バルク戦略港湾(石炭)に選定!!特定貨物輸入拠点港湾に指定!!!

橋梁全体進捗率



ついに完成。小名浜マリブリッジ

「小名浜マリブリッジ」は、平成22年3月の航路部栈台工事を皮切りに施工が開始され、本年度の航路部上部外工事まで、およそ7年間の歳月をかけて建設されました。

この間には、東日本大震災(H23.3.11)という未曾有の災害が発生し工事が一時中断、橋梁も被災しました。被災状況を把握するための損傷確認・調査および補修・復旧を行い、いち早く工事を再開しました。

幾多の課題を克服し、「小名浜マリブリッジ」は、ついに完成しました。

平成29年4月23日(日)の完成行事(午前:完成披露式、午後:完成記念ウォーク)に先立ち、その一部をご紹介します。



臨港道路1号線との交差点部



舗装上に引かれた区画線(3号埠頭側)



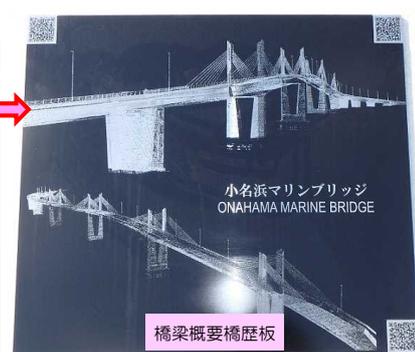
海上から天空へ向立つ「主塔」



高欄および照明灯を設置(東港側)



橋梁への入口であることを示す橋梁概要橋歴板(臨港道路起点側)



橋梁概要橋歴板



橋梁照明が新たな小名浜の夜間景観を創造

橋歴板および日常点検十箇条銘板を設置

小名浜マリブリッジは3つの橋（3号埠頭部、航路部、東港部）で構成されており、A1橋台、A2橋台とP5主塔には橋歴板が、そして、P4橋脚には日常点検十箇条の銘板がそれぞれ設置されています。

橋歴板とは、将来の維持管理の参考にするために設置されたもので、本橋では事業主体・管理者・設計者・施工者・点検マニュアル作成者・維持管理計画書作成者・着工年月・竣工年月・橋梁形式・形状寸法等・荷重条件等・適用示方書基準を記載しました。また、日常点検十箇条の銘板には、「人の目を使い、実感をともなった点検を大切に」という基本理念が記載されており、「小名浜マリブリッジ」を点検を通じて後世へ遺す意思を表しています。



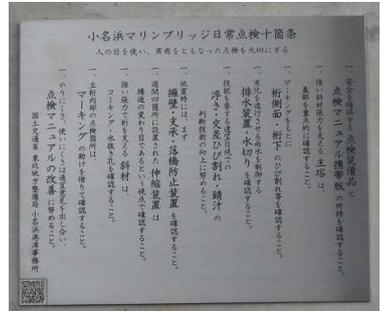
A1橋台に設置された
橋歴板（3号埠頭部）



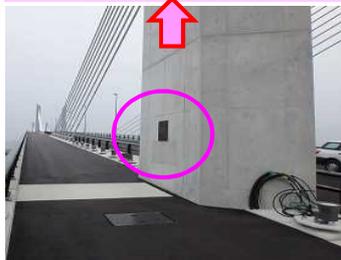
P5主塔に設置された
橋歴板（航路部）



A2橋台に設置された
橋歴板（東港部）



P4橋脚に設置された
日常点検十箇条の銘板



小名浜港船上見学会を行いました

平成29年3月18日（土）に「小名浜港船上見学会」を開催し、市民の皆様を中心として約260名の方々に御参加いただきました。

見学会は午前と午後に分かれて、いわきデイクルーズの遊覧船「ふえにつくす」に乗船していただき、小名浜マリブリッジや東港地区（人工島）を見学しながら整備の目的、各埠頭の特徴や役割などについて御案内しました。

参加された方の中には海上から小名浜港を見るには初めてという方も多く、言葉だけではお伝えしにくい大型貨物船や荷役機械、小名浜マリブリッジの大きさと迫力などを実感して頂きました。



小名浜マリブリッジ点検マニュアル現場視察会を開催しました

平成29年3月8日（水）に「小名浜港東港地区臨港道路点検マニュアル（案）」を使用した小名浜マリブリッジ現場視察会を開催し、ふくしまインフラ長寿命化研究会および福島県小名浜港湾建設事務所の約40名が参加しました。

本マニュアルは、学識経験者、福島県、東北地方整備局の三者から構成される「小名浜港東港地区臨港道路維持管理技術検討委員会」が平成28年3月に策定したもので、エクストラード橋の特殊構造である、本橋梁の維持管理の実施に当たり、実務者の経験差に関わらず一定の維持管理水準を確保し、100年後においても橋梁の機能を健全に保つ事を目的としています。

今回の視察会では、当事務所で橋梁の概要および点検ポイントについて説明した後に、実際に橋梁の橋面、側面および桁下等の点検を行いました。

今後は、この維持管理マニュアルに従い管理が実施されますが、地域の皆さんと共に技術の継承・発展に取組みながら、小名浜マリブリッジが末長く大切に使用できる様に取組んでいきます。



《ご意見・お問い合わせ先》

国土交通省
 東北地方整備局 小名浜港湾事務所 保全課
 〒971-8101 福島県いわき市小名浜字栄町65
 TEL 0246-53-7103(担当:青木・畠山)
 ホームページ<http://www.pa.thr.mlit.go.jp/onahama/index.html>
 facebook <http://www.facebook.com/onahama.pa.thr.mlit.go.jp>

『東北港湾ビジョン』を強力に推進します **国土交通省**
 ～行動する東北！東北港湾ACT構想～
 Active Connective Twin axis
<http://www.pa.thr.mlit.go.jp/kakyoin/info/info007.html>

海とみなとの相談窓口 大いに 良くなれ みなと
 全国共通フリーダイヤル 0120-497-370